KAIHOU

会報、快報、回報、ニュース

東京工芸大学同窓会　関西支部　会報

平成22年度号　平成22年12月発行

東京工芸大学同窓会関西支部

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報 目次 KAIHOU

ごあいさつ　支部長　駕田　毅 …… 1

ごあいさつ　同窓会本部副会長　奥田　昇 …… 2

平成 22 年　支部総会・懇親会 …… 4

講演　東京工芸大学芸術学部長　内藤　明　教授 …… 12

平成 21 年度会計報告・平成 22 年度予算案 …… 20

議案審議 …… 20

平成 22 年総会出席者 …… 21

印刷部会　株式会社モリサワ本社ビル見学会と「かが万」にて懇親会 …… 21

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」 …… 22

会費納入のお願い …… 26

役員氏名一覧 …… 27

関西支部事務局・各地区連絡先 …… 28



皆さんのお顔を拝見して

関西支部支部長　42 期 駕 田　毅

皆さんこんにちは、2008 年 9 月 15 日のリーマンショック以来本当に参加者が減って参りまして、厳しい世の中である事は想像できるわけですが、この様にして皆様方のお顔を拝見する事ができ本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

以前より内藤教授には、お願いしておりましてやっと実現致しました。

また、工学部長、芸術部長をお迎えして、そして、同窓会本部より、立川専務理事様にお越しいただく予定でしたが、急遽、奥田　昇副会長様にお越し戴きました。本当にありがとうございます。

懇親会にて楽しいお話が聞けるのではと期待しております。

よろしくお願い致します。

ご　挨　拶

28 期　奥田　昇

総務担当副会長として

同窓会本部副会長　28 期 奥 田　　昇



只今、ご紹介頂きました。28 期の奥田でございます。副会長の肩書きを頂いておりまして、担当は総務です。一番大切な事は、支部の活性化でありまして全国に支部会を作りましたので、まず関西支部に行って、いろんな事をお願いしなければならない立場と思っております。

第２回の全国支部総会を大阪で開催しましたが、関西支部の駕田支部長様を始め、役員の皆様には色々とお世話を頂き、ありがとうございました。

この関西支部は、全国の支部の中で一番歴史があり、78 年ぐらいと思われます。また、組織もしっかりしていますし、毎年、総会を開催し、役員会議を開き、活発な支部です。

今から、10 年程前までは、全国に、多数の支部がありましたが専門学校から短大へ、また、短大から 4 年制になると言った様な変化と共に、支部が消えていきました。そこで、全国の支部を結成すると言う事で、歩き回り 30 支部ぐらいできました。あと、もう一息なので 47 都道府県すべてに支部を作ろうと思っております。

支部を作る目的は３つあります。

・母校に対する色々な協力
・今の大学生に対する支援
・同窓会の仲間どうしの親睦を図る。

親睦も、全国の各支部と交流を持ちながら深めて行くのが同窓会の生き方と思います。そして、同窓会がしっかりすれば、非常に学校も色々と安定するのではないかと思います。

これからの大学は同窓会と共に進んでいかなければならないと思います。その中で、我々としては受け皿として、考えていかないといけないじゃないかと・・・

という事で、私も全国を飛び回って、ネジを巻かれている状態です。本日も行って来いと言う事で、お邪魔した次第です。

総務担当副会長として、全国を回り、支部を作るというのが私の任務です。これからも皆さんに色々お世話になるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

また、皆様方より、もし何かあれば、できるだけの協力はさせて頂きます。

例えば、講演会をやりたいので、この教授を呼んでくれないかとか、大学には、色々な作品が保存されてますので、講演会、支部会などの特に飾りたいとかあれば色々と協力できるのではないかと思います。

さらに、そう言う事をやって工芸大の名を全国的に社会に売り出していかなければならない気がします。ですから、いま、全国に支部を作っていますが、そう言う事をきっかけに支部を作ったらどうだろうと思います。

これまでに申し上げてきました通り、講演会をできる先生方は多くいらっしゃいますし、大学にも色々な作品が保存されていますので、支部の活性化をこれから図って行った方がいいのではないかと思います。

その様な事で、これから色々と皆様にお願いしますし、私の方も一生懸命努力して、関西支部を一つの見本として、どんどん作っていきたいと思っております。

最後に工芸大の 90 周年を記念して、寄附を集めて頂いている訳でございますが、今度の理事評議員会で金額を決定して学校側に報告する事になっております。できるだけ学校には協力していきたいと思っております。

どうもありがとうございました。よろしくお願い致します。

平成22年　総　会

東京工芸大学同窓会関西支部　総　会　平成 22 年 6 月　　於　アークホテル



平成22年　支部総会

平成22年6月19日（土）、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し近畿各地から同窓生が参加しました。

大学より、東京工芸大学芸術学部長　内藤　明教授のご出席を頂き、また同窓会本部より東京工芸大学同窓会本部　奥田副会長の出席も頂く事ができました。

38期滝口氏の名司会のもと、42期駕田支部長の挨拶に始まり各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

来賓講演にて、「デジタルカメラ概観」と題し、芸術学部長 内藤　明 教授よりお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り工学部27期三橋氏の司会、24期山本氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、29期の岩朝氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。





支部長挨拶　42期　駕田　毅　氏



司　会　38期　滝口　雅之　氏



広　報　工ー16期　小林　修一　氏



滋賀地区　47期　大西　繁　氏



京都地区　39期　安岡　賢治　氏



兵庫地区　36期　西尾　祐一　氏



和歌山地区　34期　西本　洋　氏



大阪地区　39期　山本　哲　氏



双美会　30期　福岡　武雄　氏



会計報告　40期　倉橋　正直　氏





平成 22 年　懇 親 会



司会　工 -27 期　三橋　浩二　氏



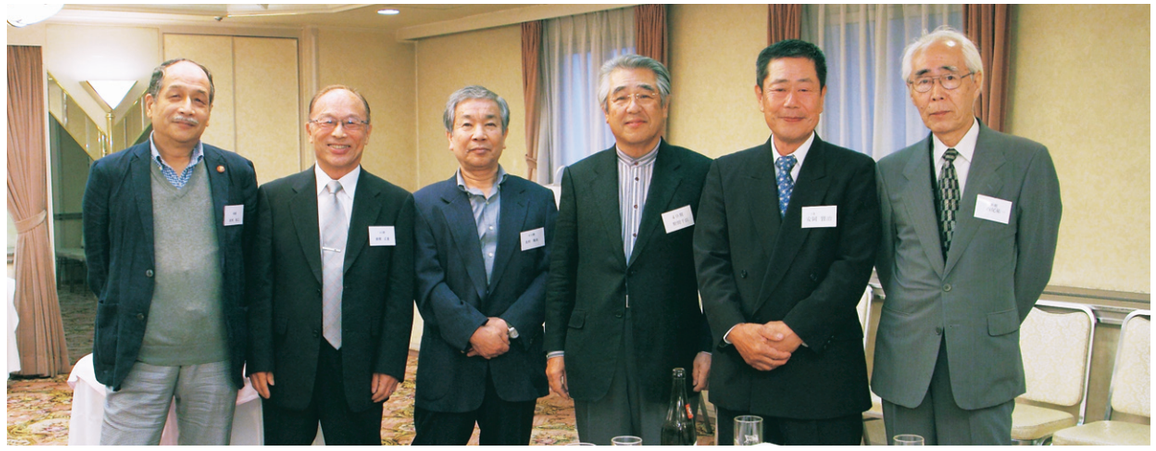
乾杯　24 期　山本　吉男　氏



中締　29 期　岩朝　哲男　氏



乾杯風景















創立90周年
記念事業
募金

講演　東京工芸大学芸術学部長　内藤　明 教授

デジタルカメラの概観

芸術学部長　　内藤　明



講演では内藤教授に「デジタルカメラ概観」と題しお話を頂きました。内容はデジタルカメラのしくみと現在の短大の近況などを交えながら講演されました。

いま、ご紹介に預かりました、東京工芸大学芸術学部の内藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

これまでのお話を聞いておりまして、感動致しました。

私は 47 期で卒業した時は、関先生の研究室でした。芸術学部を作る時は自分で申請書を書いてほとんどの仕事をやってきましたが、いつも同窓会の事が気になっておりました。奥田先生に伺いますと、関西支部は同窓会本体よりも歴史が長いと言う事でひとつのあり方を感じました。

今日は、普段の授業や講演で使用している 90 分 2 回分ぐらいのものを、20 分位でザックリとお話ししていきたいと思います。

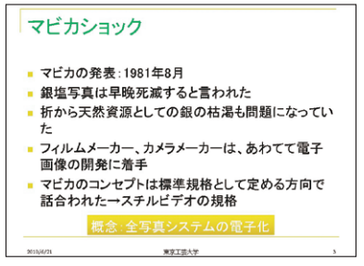
内容は、デジタルカメラの概要を私なりのテーマでお話をして、あとは、現在の芸術学部のお話をして参りたいと思います。

デジタル写真を始めましたのは、1975 年から写真工業という雑誌に原稿を書き始めた事です。



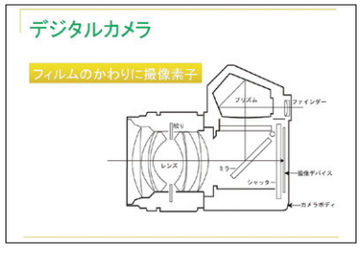
1981 年にマビカが出て大変ショックを受け直接メーカーの開発部隊に突撃インタビューし、1990 年から画像前線レポートを書き始めました。それらとデジタル写真の進展とがリンク

して、何やらデジタルカメラの旗振り人みたいな事をしばらくやりましたが、凄い時代になったなと今、つくづく思う次第です。

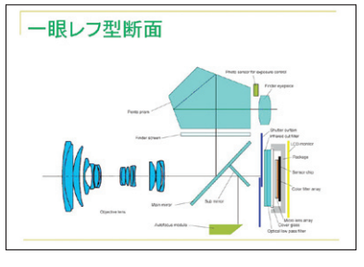


マビカショックの時は、ご存じの通りあの時は銀の買い占めがあった様なんですけど、SONY は代々、写真好きの様でして 1981 年の少し前にやっと SONY のホームビデオが始まった 2 年後位には静止画カメラを作った。

この概念なしでは今のデジタル写真はないですね。SONY がやろうとした事は、全写真システムの電子化だと、この概念こそが今のデジタル写真基礎であり、この部分が世界に対して有利な部分である。



1988 年、発売されなかったのですが富士フィルムの DS1P がでまして、1988 年という時期とはいろんなデバイス類が全く貧弱な状況でその時にメモリーカードを使った。当時、メモリーカードという考え方はなく、後にジェーダの規格になり、ジェーダの規格がパクられて、ジェーダの規格そのものは、非常にオリンパスの方達が深く研究されていて、ジェーダの規格にして、それが今、PCMCIA というアメリカの規格で、PC カードと呼ばれています。





PC カードと呼ばれているものは、これが発端で、日本のメーカーの人は、多大な寄与をしました。そう言うカードに目を付けたという事が素晴らしく今のメモリーカード形の始まりでした。

1991 年に、ニコン S-1 のボディーにコダックの CCD のセンサーがウラぶたに直接 CCD がマウントされていて、この年の写真工業の取材で見た時に、新聞の分野においては使える時代に来たんだと痛感しました。

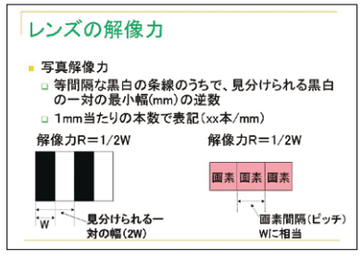
デジタルカメラのブレイクは、1995 年の QV-10 で VGA で今のアナログテレビ解像度の半分、絵は悪いのですが、当時からメーカーでは、フィルムカメラと同じ形では、デジカメが売れないと言われていましたが、カシオはカメラの形状をそのままに、始め 3,000 台／月売れればいいかなと思っていましたが、3 万台も売れ、これが始めて世間に売れたデジタルカメラです。

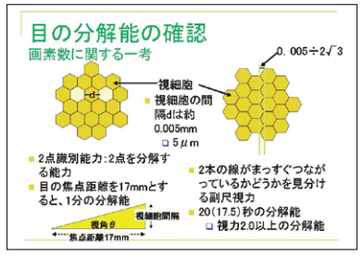
デジタルカメラとは何かと考えますと、昔のフィルムの部分に現在の CMOS センサーが多いで

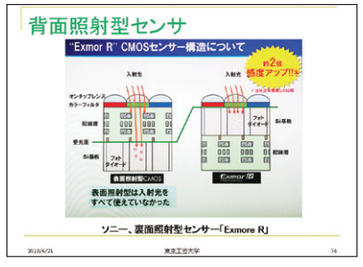
すが、すぐ絵が見れる即時性、現像しなくていい機密性とメディアの書き換えができる事、これがフィルムカメラと決定的な違いであります。つまり、現像代がいらない、コストが格段に低いと言う事です。

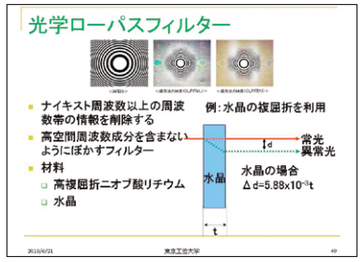
デジタルカメラの分類も昔は色々ありましたが、一眼レフ型、デジ一眼、コンデジ、カメラバック型、ライカ型その他の分類が市場にあります。

一眼レフ型はレンズの互換性がある。コンパクト型は、ファインダーに光学系を持っているカメラもあったんですが、現在はほとんどありません。カメラバック型で、一番金額の高いもので、有名なものではフェーズワン、ハッセルブラッドも S-3 というものがあります。また、画素数的にも一番大きいカメラです。6,000 万画素 350 万円位です。センサーも CMOS ではなく CCD で、コダックのものと、ダルサのものとどちらかです。ライカ型は、1925 年に最初の A 型というものがでましたのでその時から、ライカスクリューのマウントで交換できるレンズの種類が一番多かったです。









解像力とは、タテ縞で考えている訳ですが、デジタルカメラの場合には、画素の間隔の事ですので、タテ縞を見分けられるついの幅ですので、画素の大きさが決まればレンズに必要な解像力が決まってしまうというのがデジタルカメラのポイントの一つです。ピッチが決まれば、レンズに必要な解像力が決まってしまいます。

つまり、3 ミクロンというピッチで、35mm サイズに敷き詰めると、9,600 万画素になり、その時に必要な解像力 167 本位いのものが必要です。

光を感じるところがセンサーですが、斜めに入ってくる光は 100％捕らえられませんので、マイクロレンズというものを作って開光率を上げる事ができますが、真直ぐにしないとうまく捕らえられません。

倍率の色明差、フォトショップで修正する事はむずかしくない。

今日、少しお話ししたいのは、現在のデジタルカメラは単板のカメラで一枚のイメージセンサーの上に RGB のフィルターがオンチップされている。

イメージセンサー上には青の部分、赤の部分、緑の部分の情報しかない、その他の色は周囲から持ってきます。それを同時化処理とか、色補間と言い、偽色が発生します。単板カメラでは原理的に必ず発生します。

標本化定理、デジタルシステムにする時には、画素の並び方と被写体のパターンとある関係の時に、完全に復元できる。ある関係でない時に復元できない、この時には、モアレになる。モアレを防ぐ為にローパスフィルターが使われています。つまり、ボケフィルターです。ローパスという事は周波数のローのところの荒い部分を通して高周波成分をカットするものです。ですから、デジタルカメラというものはボケル要素が 2 つあり根本的に持っています。その為に、非常に輪部を強調します。光学ローパスがないと偽色、モアレが発生します。モアレはフォトショップである程度、解消できます。ネットなどで、「完全に解消できる」と書いている人もいますが、原理的にはありえません。

カメラのお話しの最後のところで、フォーサーズというのがありましてこれは、2002 年に、オリンパス、コダックが使った規格で、デジタルカメラ専用です。当初は一眼レフだった。この考え方は、35mm の対角線上の 1 ／ 2 をイメージセンサーの大きさにして、フランチバックをこれくらいの距離にしまして、これらをある短かさよりもそれなりに確保しましょうと。これらがフォーサーズでいろんな事がこれでうまくいきますよと言ってたのですが、最近の動向としては、これらがフォーサーズで、こちらがマイクロフォーサーズ元々小型化だったのですが、うまく小型化できなかったと言う部分もあるのですが、フランジバックを 1 ／ 2 にして、それによってミラーがなくても使えますよと、フランチバックである長さがあるという事は、実はテレセントリックという光学系に対して大変うまく機能する。

その事に対して、違う考えを持ち、レンズの方に大きな負担をかけましょうという事、それから、マウントをすごく小さく、このカメラとこのカメラと相当違う性質、この事をさすがに松下がやるもんでザクッとできる。

全デジタルカメラの市場の 2 割がこれになるという。うたい文句で発表したのですが実際、現在ではデジタル一眼レフの 2 割のマーケットがあって、ほとんどニコンとキャノンで、他は数字にならないのですけれども、なかなか目の上のたんこぶ的になってて、APS の C のやつでこのタイプのカメラを出しました。

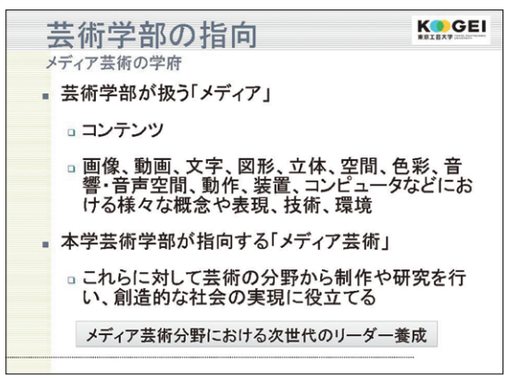
次のページには、大学のお話を載せております。

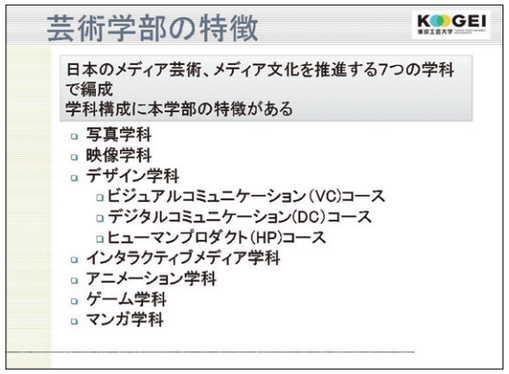
ちょっと駆足ですが、次に大学のお話しをします。先輩方を差しおいて何ですが、工学部と芸術学部があって短大から芸術学部になったこの年に、書類を作りその時は、写真と映像とデザイン、それはもともと写真技術科と写真工業化と写真印刷科が母体の短大のものでした。ここから、写真工業科から写真光学科が工学部にできましたし、写真印刷科から印刷工学科が工学部にできました。

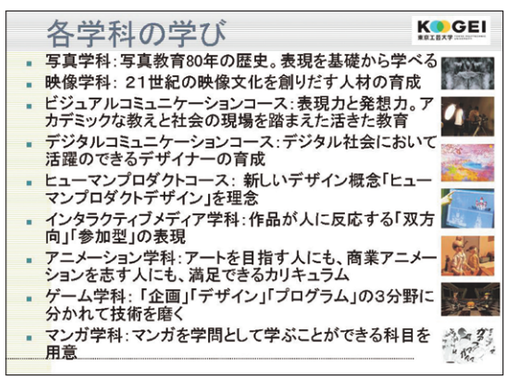
現在の工学部はメディア画像と生命環境化学と建築、コンピューター応用、電子機械という５つの学科、芸術学の方は写真学科と映像学科の中が別れてきまして、映像学科プラスインタラクティブメディア学科、アニメーション学科、ゲーム学科、デザイン学科です。先生方が実は、流れの中にない始めての芸術学部の考え方として、平成19年からマンガ学科という様な学科を立ち上げました。

現在は、どんな風になっているかと申し上げますと。芸術学部では、メディアの楽譜だという事で、メディアとは何か画像動画文字、図形、立体空間を指します。そこにおける考え方であるとか表現であるとか、スキルであるとか環境であるとかそう言う様な事を我々は扱っています。メディア芸術は、こう言うメディアを使って芸術的なアプローチ、我々はやはり、根幹は美術教育と思うんですけど、その中でこう言うメディアを扱ってこれからの我々のテーマと致しましては、こうした分野の次世代のリーダー養成という様な事を考えております。現在は先程、申し上げました様に、7つの学科でデザイン学科の中で３つあります。









今日一番のテーマで、うれしい話が支部長の方から号令が出てるという事で、はなはだ頼もしく、逆にわれわれが何やってるの？という感じです。90周年記念の募金は、特に教員からの募金が少ないんですがもう本当に先輩方のご尽力によって我々90周年までは、何とかなるという見通しは立っております。

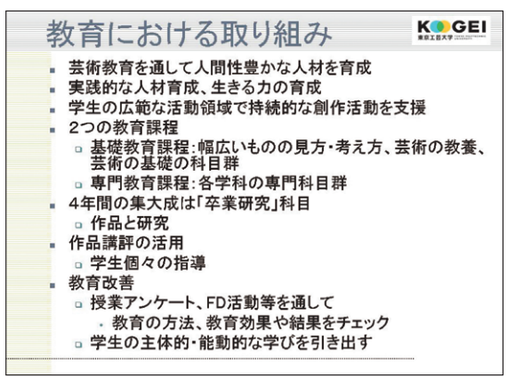
ご存じの通り、中野キャンパスはもう、昭和30年代（33年～32年）の時の建物を我々がまだ使っているわけで、前々から何とかしなければと、思っておりましたが、地程がそのすごくいいものですから学生達が結構それなりに充実してやっております。ヨドバシカメラが西口にあるのですが卒業制作つくる頃になると写真学科、デザイン学科、映像学科の学生もそうですが、ヨドバシ便というのが１日１回位の自転車便があります。今、作っているやつが足りなくなり、生協に売ってないとヨドバシに買いに行く、そのロケーションというのは、非常に大きな有位性を他大学とくらべても今でも、もしくは今だからこそ持っているというように思います。

先輩方がいらしたキャンパスなんですが、はじめは幡ヶ谷でしたが中野に移ってきて、芸術情報館という現在の写大ギャラリーと会議室のギャラリーとそんな機能を持ったものがあります。この







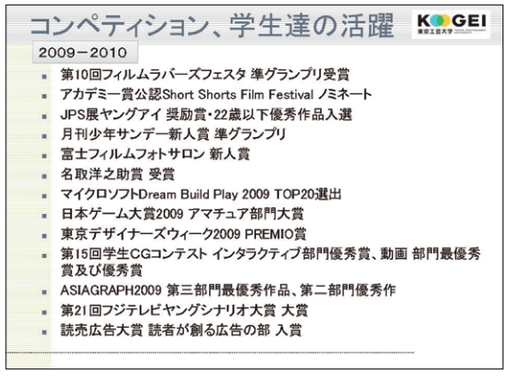


中に、キャンパスと、こちら側に宮園自動車という、タクシー会社があったのですが、そこがわれわれ買いたかったのですが、売らないという事で、長期に渡る借りる契約を致しましてもう一ヶ所、土地を確保しました。歩いて２分位の所です。ここに学食を設けます。

現在このリニューアル計画の基本はメディア芸術の拠点を作るという事と、ここから世界へ情報を発信して行く事と都市型の立体的に、まぁ、こういうキャンパスにならざるを得ないんですけど、その様な事で考えてます。実際には少し工事はあるのですが平成 26 年 4 月には芸術学部の全３年・4 年が中野に集結するという状況です。建物としましては１号館、２号館、３号館（宮園自動車跡地）が今、計画されています。

一期が７月に引き渡しがありまして、８月中に写真と映像が引越します。それからここは来年の２月に出来上がりまして、３月にデザイン科が引越します。

考え方として地域に対して、広げたキャンパス全体が美術館的な考えも持ってるのですが、現実的には学生のロッカーとかあってむずかしい部分もありますが、写真や印刷、デザイン、映画やテレビ、マンガ、アニメーションがここから情報発信していくと、と言う考え方で、現在キャンパスを作ってまして、この１号館の１期工事は、７月にできておりますので、もしよろしければ、平成 22 年９月４日以降は、学生達がおりますので、









大歓迎しますから見に来て下さい。今、我々が持っている 85％の面積まで小さくなりますが、学生たちの活動がより、活発になり、みなさん方の後輩達がより Big な学生たちが沢山でる様になると思います。そういう一つの例は、私の部屋の学生だったんですけど写真の芥川賞といわれる、木村伊兵衛賞を３回受賞しました。今年 2009 年度の授賞式は 4 月にあったんですけど、非常に多彩な活動、写真だけではなく、デザイン学科の学生たちも読売広告大賞に２度連続してプロに混じって取るという活動している後輩が居ますので、ぜひぜひ、来て戴いて、新しい建物を見て戴いて、後輩達を激励して戴ければ、こんなにためになる事はないと思います。是非、よろしくお願い致します。早口でお話ししましたが、こんな状況であります。ご静聴ありがとうございました。





平成21年度会計報告

H21.6.1～H22.5.31

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	115,244	通信費	52,100
支部費	126,000	総会会場費	175,900
総会費	157,000	交際費	9,450
寄贈	45,000	会議費	21,700
利息	16	雑費	14,375
		次年度繰越金	169,735
合計	443,260	合計	443,260

平成22年6月10日　　会　計　倉橋正直　　監　査　滝口雅之

平成22年度予算案

収入の部		支出の部	
繰越金	169,735	通信費	50,000
支部費	150,000	交際費	20,000
90周年記念募金	300,000	会議費	40,000
		雑費	20,000
		90周年寄付	300,000

会　計　倉橋正直

議案審議

1.21年度会計報告と監査報告(上記の通り)

2.22年度活動計画の概要

(1)支部会員に22年度総会等の報告書を作成し送付する。

(2)「新年懇親会」を諸般の事情により中止する。

(3)次年度総会を平成23年6月開催の予定。

(4)定例役員会1回開催。(23年3月)

3.22年度　収支予算　(上記の通り)

平成22年・総会出席者（28名）

来　賓　　東京工芸大学芸術学部長　内藤　明　教　授
　　東京工芸大学同窓会本部　奥田　昇　副会長

〈敬称略〉

(滋賀県)　(1名)
　大西　繁(47期)

(京都府)　(5名)
　山本吉男(24期)　山口晃正(29期)　外村陽二(35期)　安岡賢治(39期)
　北村隆夫(40期)

(大阪府)　(10名)
　林　徹(33期)　滝口雅之(38期)　山本　哲(39期)　菱川典郎(40期)
　北村知二(40期)　倉橋正直(40期)　駕田　毅(42期)　恵川邦雄(43期)
　内田英男(工2期)　三橋浩二(工27期)

(兵庫県)　(6名)
　山口譲一(29期)　福岡武雄(30期)　森澤嘉昭(31期)　西尾祐一(36期)
　野間千臣(40期)　小林修一(工16期)

(奈良県)　(1名)
　安川洋平(30期)

(和歌山県)(2名)
　西本　洋(34期)　村田　忍(38期)

(徳島県)　(1名)
　岩朝哲男(29期)

印刷部会
㈱モリサワ本社ビル見学会と「かが万」にて懇親会



◀㈱モリサワ本社ビル内







平成22年9月17日、大阪市浪速区にあります、株式会社モリサワ本社ビルに印刷部会のメンバーが集合。

同日の夜、大阪市北区堂島にあります、「かが万」にて、北海道直送の海の幸に舌鼓を打ちながら、自己紹介、昔話などに花を咲かせました。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

滋賀地区

34期 山田善章　いつもお世話様になり有難うございます。まず体力をつけようとサイクリングを楽しんでおります。

39期 松江邦男　出席できません。(別の計画がありますので…)
リタイア後同じペースで過ごしております。(写真撮影・山野草の育成・テニスなど)

工10期 鶴谷佳憲　毎日忙がしい日々ですが、元気に仕事をしています。
次回は是非出席したいと思っております。

工12期 伊東正邦　景気もやっと持ち直しつつあり、ほっとしているところです。最近、地デジ放送に対応するため、200万画素の液晶テレビを買いました。その画質に感動しています。

京都地区

24期 山本吉男　毎回ダイコロさんのご支援で立派な会報を作っていただき現在、双美会50年誌を編纂中､立派な冊子ができるのを期待しています｡駕田支部長に感謝、小生も、上田先輩と共に最高齢に達し淋しいですが、若い方達のご参加を望んでいます、ご盛会を祈る。

33期 梅原敏生　９年前、前立線ガンの手術を受けましてから、アト始末が悪く、外出はひかえております。京都北部地区の企画だけなら出来ると思いますが「出席はひかえさせて下さい」この様な事で充分なおもてなしが出来ないと思いますので他をさがして下されば幸いです。

41期 井原裕三　いつもありがとうございます。当日は別件の同級会の予定が入っておりまして、誠に申し訳ございませんが欠席させて頂きます。

大阪地区

20期 関　秀峰　胃腸病の為、会食は出来ません。工芸大学の発展を祈っております。

27期 石川芳徳　いつもご通知を頂きながら欠席で失礼しております。今年の１月から体調をくずし入退院のくり返しで出席する状態でなく誠に申し訳ありませんが、今後のご通知をお断りし退会したいと思っております。
誠に勝手なお願いですが、何卒よろしくお聞き入れ下さいませ。皆々様によろしく、失礼致します。

30期 各務正彦　８年目にして今春、治療が完了しました。精神的に大きなプレゼントを戴けました。感謝して誠実に奉仕したいです。
当日は自身が関係する団体の予定が入っておりますので欠席します。幹事様御世話ばかりおかけし誠に有難うございます。

31期 上林朗男　皆様に、よろしく。

39期 塙　幸子　申し訳ありませんが、欠席させて頂きます。

40期 北村知二　皆様に会えるのを楽しみにしております。

40期 倉橋正直　本年４月に始めての年金受給しました。まだまだ現役でがんばります。

40期 菱川典郎　昨年初めて参加させて頂きまして楽しいひとときでした。しかし若い方がほとんど参加されてなかったのが気になります。住所を公開し広く呼びかけてはいかがですか…？私事は健康に気を付けて自由人として残りの人生、楽しんで居ます。元気であれば参加できます。皆さん参加しましょう。

41期 恵川邦雄　定年後、３～４ケ所の学校関係、大学、専門学校、塾などの顧問をしております。毎回出席しております。

42期 豊田光恵　日曜日開催の折には必ず出席させて頂きます。

43期 和田潤司　いつもお世話になっています。今私は、養子の様になって元気に家族４人でスタジオを手伝っています。順位は一番下になりました。老後の生活にあとひと踏ん張りです。第２の生活は南淡路に成っています。

工2期 内田英男　皆様とお会い出来る事を、楽しみにしております。

工2期 沖　岩男　都合により、欠席いたします。盛会をお祈りしています。

工3期 野志敏郎　母校の発展を御祈りします。急用ができ今回は欠席させていただきます。先生をはじめ皆様によろしく御願いします。

工4期 俣野恒雄　寅年、五回目の年男です。
前略、先に東京工芸大学同窓会出席で返事を送りましたが、やむをえない用事が入りましたので、出席できません。誠に恐れ入りますが、欠席の手続きをよろしくお願いします。早々

工4期 八木一幸　この４月、急に転勤となりました。東京で右も左も良くわからなくウロウロの毎日です。盛会をお祈り致します。

工9期 友永芳男　毎回欠席で申し訳ありません。本日19日は建築学科の大野隆司教授の定年退職のお祝を東京で開催しております。大野研究室ＯＢやラグビー部ＯＢが多数出席しております。
毎年の総会案内本当にありがとうございます。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

兵庫地区

23期 木野　渉　腎臓を悪くして１週間に３回透せきに通っております。月水金と通院しております。このごろ集会にはとても出席出来なくなりました。やはり元気なのが一番です。どうぞ皆様、御体をくれぐれも御大切に。

27期 杉本卓也　支部長始め役員の方々に大変お世話になり感謝致しております。当日急な所用で出席できず残念ながら欠席させていただきます。皆様方によろしくお伝え下さい。

29期 山口譲一　昨年10月末に心臓の手術をしました。バイパス２本と、心臓の弁が硬くなり、豚の弁と取り替えました。それで自分は豚人間になりました。それでも普段の生活には心配いりません。１ケ月入院しました。

30期 福岡武雄　役員の皆様には大変お世話をおかけしております。ありがとうございます。小生、元気に過しております。秋の大輪の菊花を楽しみに目下栽培に努めています。当日､所用にて少し遅れるかと思います。よろしく願い上げます。

30期 松本一馬　都合悪く出席できません。西尾様には兵庫地区のお世話有難うございます。今后共、よろしくお願い申します。小生はお陰様で元気に暮しております。関西支部の役員各位のご盡力に感謝しております。

31期 工藤　真　仕事の都合上今回は欠席します。申訳けありませんが皆様によろしくお伝え下さい。

38期 古東淑美　いつも大変お世話になり、ありがとうございます。
父母の面倒をみていますのでなかなか出席出来ません。どうぞ、みなさまによろしくお伝え下さいませ。

40期 池上壽二　この時季には会社のＯＢ会と重なりますので、申し分けございませんが欠席致します。皆々様の御健勝と益々の発展を心より祈念致します。

40期 志野木貞夫　次回は必ず出席と思っていましたが、今回も欠席できません。残念です。

40期 中尾克彦　会員皆様の御健勝と御多幸を祈念して総会の御盛会を願っています。

41期 八田洋征　いつもお世話ありがとうございます。
腎臓病のため大量の薬の投薬、食事管理、安静に努めています。

42期 林　照雄　今回は出席の予定をしておりましたが、昨年末に体調不良の為、10日間程入院加療をし、現在も回復しておらず、欠席させていただきます。
皆様によろしくお伝え下さい。
ご盛会をお祈りします。

52期 岸田啓史　すっかり御無沙汰してしまっています。内藤先生ご来阪との嬉しいニュース、真先に駆けつけたいところですが、どうにも都合がつかず伺うことが叶いません。誠に残念です。
内藤先生はじめ皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

工11期 上成清一　電機業界は一部の商品は回復して来ましたが、主力商品が中国に行ってしまったりで、まだまだ、きびしい景気です。長男は社会人２年生、食品業で頑張ってます。次男は甲南大学生、いずれも文系で親の意とは別のムスコやってます。同研究室卒の熊田君がボーイスカウト指導者で兵庫県の賞。

工16期 小林修一　よろしくお願いします。

工25期 鈴木正一郎　当日は家内の実家に行くことになってしまったので、申し訳ありませんが欠席させて頂きます。
今年11月27日に工学部同窓会40周年記念を行なう予定です。詳細は後日発表とのこと。
山本先輩へ　先輩と同期(？)の荻原先輩が、昨年学園祭時にお会いしたとき「宜しく」と仰っていました。

奈良・和歌山地区

23期 上田史郎　２つの持病があり、大阪赤十字病院にて通院加療中ですが体調悪く欠席させて頂きます。

30期 宇都宮和子　18日19日と家のものと出かけることになっています。又今月末より鹿児島に１ケ月の予定で（孫の世話）行きます。種々なことがあり申しわけありません。皆々様によろしく。

33期 牛山廣己　この日は都合がつきません。誠に申し訳けありませんが欠席します。幹事をなされている方には、何時も御迷惑をおかけしております。

38期 本城丈夫　毎度お世話かけます。
土曜日は休みではないので、申し訳けないですが欠席です。

43期 二見むつみ　いつもお世話になり、有難とうございます。仕事があり、残念ですが、欠席します。

徳島県より

29期 岩朝哲男　Ｓ29年卒業後、大阪三越写真室入社、その折前名の「ひまわり春秋会」に入会。３年後に鳴門に帰省し､家業の写真館で頑張ってましたが､Ｈ７年『50年の歩み』の個展を徳島と東京で開催し現役を引退しました。１年後輩の福岡氏と連絡を取るようになり、又出席させていただくようになりました。

平成22年12月

会員各位

東京工芸大学同窓会
関西支部長　駕田　毅

会 費 納 入 の お 願 い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
皆様には、日頃支部運営に何かとご協力を賜り有難うございます。同窓会の活性充実を図るため、会員の皆様には支部活動の状況をお知らせし、一層のご理解を戴く事を念じまして、本年も22年度の会報を制作し、お届け致しました。お目通しの程よろしくお願いします。

恒例の支部総会は、会員各位の親睦・情報交換の場として、一層盛大になることを念じております。

つきましては、同窓会関西支部の22年度年会費のご協力をお願いする次第でございます。**次回の総会に初めて参加希望、参加予定の方も22年度会費のみで結構です**ので、万障繰り合わせの上ご参加頂きます様お願い申し上げます。
尚、22年度会費納入済みの方には会費請求の重複ご容赦下さい。

敬　具

記

1．東京工芸大学同窓会
　　関西支部　　22年度・年会費　　3,000円

2．会費振り込み先　　東京工芸大学同窓会・関西支部
口座番号　南郵便局[00940－4－97724]
※ 同封の郵便振替用紙をご利用下さい。
(振込料は無料です)

年々会費納入者が減っております。
このままでは支部運営に多大な影響を及ぼします。是非とも１名でも多く会費納入に御協力をお願い致します。

◇お問い合わせは会計担当・倉橋まで　Tel ０６－６７６１－６８６８

会計担当　倉橋正直

東京工芸大学同窓会関西支部　役員氏名

	役　職　名	期	氏　　名	備　　考
	顧　　問	23	上田史郎	
	顧　　問	30	福岡武雄	
	顧　　問	30	松本一馬	
1	支　部　長	42	駕田　毅	総務担当
2	副支部長	40	倉橋正直	会計担当
3	副支部長	43	香川　進	企画担当
4	副支部長	工 4	俣野恒雄	広報担当
5	副支部長	工 2	内田英男	大阪地区長
6	副支部長	39	山本　哲	総務・大阪地区４年制担当
7	副支部長	47	大西　繁	滋賀地区長
8	副支部長	39	安岡賢治	京都地区長
9	副支部長	36	西尾祐一	兵庫地区長
10	副支部長	38	本城丈夫	奈良地区長
11	副支部長	34	西本　洋	和歌山地区長
12	監　　事	38	滝口雅之	
13	監　　事	工 8	谷野　彰	
14	副地区長	30	安川洋平	奈良地区
15	広報委員	工16	小林修一	
16	同期委員	30	安川洋平	兼任
17	同期委員	31	森澤嘉昭	印刷部会　会長
18	同期委員	38	滝口雅之	兼任
19	同期委員	39	安岡賢治	兼任
20	同期委員	工 2	内田英男	兼任
21	同期委員	工16	小笠原秀樹	
22	同期委員	工25	鈴木正一郎	
23	職場委員	43	香川　進	兼任
24	職場委員	47	大西　繁	兼任
25	職場委員	工 4	俣野恒雄	兼任
26	職場委員	工 2	長谷川　淳	
27	職場委員	工 8	谷野　彰	兼任
28	職場委員	工12	伊東正邦	
29	職場委員	工27	三橋浩二	
30	婦人部長	40	大泉琇子	
31	婦人部副部長	38	村田　忍	
32	婦人部委員	43	二見むつみ	

会員の皆さんに同窓会情報をお届けしようと、会報をお送り致します。
ご意見・ご提案がございましたらご一報下さい。
なお、会員の異動や慶弔ごとなどは、お手数ですが各地区長又は事務局までご連絡下さい。

支部長兼総務担当　駕田　毅

東京工芸大学同窓会関西支部

事　務　局

〒540-6591　大阪市中央区大手前１-７-31（OMMビル11F）
ダイコロ株式会社内　秘書室
TEL06-6944-6311　　FAX06-6944-6427

各地区連絡先

滋賀地区	大西　繁 〒525-0072	草津市笠山5丁目3-66-604	TEL077-563-9208
京都地区	安岡賢治 〒610-0331	京田辺市田辺北里24	TEL0774-62-1376
大阪地区 （工学部）	内田英男 〒594-1111	和泉市光明台2-45-2	TEL0725-56-5726
大阪地区	山本　哲 〒557-0006	大阪市住之江区浜口西2-3-9	TEL06-6678-2426
兵庫地区	西尾祐一 〒665-0877	宝塚市中山五月台4-11-1	TEL0797-89-2248
奈良地区	本城丈夫 〒630-8348	奈良市小太郎町4	TEL0742-22-6225
和歌山地区	西本　洋 〒640-8152	和歌山市十番丁69	TEL073-422-2066

当会報作成にあたっては、ダイコロ株式会社に一層のご協力を戴きました。ダイコロ㈱には厚く御礼申し上げます。
東京工芸大学：同窓会関西支部

株式会社　美生社
39期　山本　哲　　工・５期　山本　忠
70期　山本素之
〒557-0024 大阪市西成区出城1－7－4
ＴＥＬ 06-6647-8555㈹
ＦＡＸ 06-6647-3176

31期　森澤嘉昭
株式会社モリサワ
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25
Tel.06-6649-2151 Fax.06-6649-2157

思い出と感動の新しいフォトエッセイ
Lifegraph（ライフグラフ）®
一冊からつくれる写真集
思い出メーカー ダイコロ
大阪本社 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 ☎06-6944-6311


http://www.t-kougei-kansai.jp/

Printed by DAICOLO
2010.12.